

会 議 録	
会 議 名	令和5年度 第3回 丸亀市子ども・子育て会議
開催日時	令和6年3月22日(金) 午後2:00～2:45
開催場所	マルタス 2階 ROOM3,4
出席者	<p>(出席委員)</p> <p>辰巳 裕子、奥澤 日登美、中野 実千代、矢野 秀典、高木 明美、高橋 勝子、富田 由佳、飛渡 慎司、吉村 真樹、金澤 泰宏、前谷 智仁、真鍋 奈美、岡崎 幸、三好 里美</p> <p>(欠席委員)</p> <p>吉川 暢子、松本 智支、山川 政明、川崎 幸代、西川 昌宏、森 彩人、合田 博幸</p> <p>(事務局)</p> <p>健康福祉部長 奥村 登士美</p> <p>子育て支援課 課長 窪田 美由紀、副課長 駒松 暁子、 家庭児童相談室室長 坪倉 里美、担当長 高口 真弓</p> <p>健 康 課 副課長 江渕 貴彦、母子保健担当長 十河 里臣</p> <p>教 育 部 長 窪田 徹也</p> <p>幼保運営課 課長 黒田 千絵、副課長 横山 史朗、 運営担当長 三宅 征志、総務担当長 萬城 信哉</p> <p>教育部総務課 副課長 土井 節子、庶務担当長 富士川 美由紀、主任 野口 耕平</p> <p>学校教育課 課長 岩井 俊明、副課長 西山 晋作</p>
議 題	<p>(1) 幼稚園・保育所等の状況及び教育・保育の量の見込みと確保方策について</p> <p>(2) アンケート調査の結果(速報)について</p> <p>(3) その他</p>
傍聴者	0名
発言者	議事の概要及び発言の要旨
事務局	<p>定刻となりましたので、ただ今から令和5年度第3回丸亀市子ども・子育て会議を開会いたします。委員の皆様には、大変お忙しいところご出席をいただきましてありがとうございます。本日の司会を務めさせていただきます、健康福祉部子育て支援課の駒松と申します。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>それでは、はじめに辰巳会長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
辰巳会長	<p>皆様こんにちは。本日は年度末のお忙しいなか、会にお集まりいただきありがとうございます。春も近づき、こども達の表情も柔らかくなり微笑ましく思いながら見ております。皆様もお忙しいと思いますので、会議の予定時間内に終わるよう進行していきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。続きまして、健康福祉部長奥村よりご挨拶を申し上げます。</p>

事務局	す。
奥村部長	<p>皆様こんにちは。本日は年度末の大変お忙しいところ、子ども・子育て会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また日頃から、子ども・子育て事業にご支援とご協力をいただきまして感謝申し上げます。</p> <p>本市におきましては、令和2年度から5年間を計画期間とする「第2期丸亀市子ども未来計画」を策定しております。そして、上位計画である丸亀市総合計画では「心豊かな子どもが育つ丸亀市」を目指して、その実現に向けて15行動計画を位置付けております。</p> <p>また、令和6年度は次期計画である「第3期丸亀市子ども未来計画」の策定の年度となっておりますので、本日の会議は計画策定に係るアンケート調査の結果等についてご審議いただく予定となっております。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、それぞれの立場で、また専門的な見地からご意見をいただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが開会にあたっての挨拶といたします。本日もどうぞよろしくお願ひいたします。</p>
事務局	<p>また、今回も第3期丸亀市子ども未来計画ニーズ調査等の業務を支援いただく「株式会社ぎょうせい」の2人の方にも会議に同席いただきます。よろしくお願ひいたします。本日、吉川委員、松本委員、山川委員、川崎委員、西川委員、森委員、合田委員につきましては、事前にご欠席とのご連絡をいただいておりますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>続きまして、会議の成立についてご報告いたします。丸亀市附属機関設置条例において、丸亀市子ども・子育て会議では委員の半数以上の出席が会議の成立要件として規定されております。本日は、委員総数21名のうち14名の出席をいただいております。出席人数が半数を超えておりますので、本会議が成立しておりますことをご報告させていただきます。また、本日の傍聴希望者はございません。あわせて報告させていただきます。</p> <p>それでは、本日の議事に入る前に資料の確認をお願いしたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">《資料の確認》</p>
事務局	<p>それでは、これより議事に移りたいと思います。</p> <p>丸亀市附属機関設置条例第7条に「附属機関の会議は、会長が招集し、議長となる」と規定されておりますので、ここからの議事進行につきましては、辰巳会長にお願いいたします。</p>
辰巳会長	<p>それでは、私の方で議事を進めさせていただきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>本日の議事でございますが、お手元の次第のとおり、</p>

辰巳会長	<p>(1) 幼稚園・保育所等の状況及び教育・保育の量の見込みと確保方策について (2) アンケート調査の結果（速報）について (3) その他</p> <p>となっております。それでは、議事（1）について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>《事務局より説明》 資料①</p>
辰巳会長	<p>説明ありがとうございました。ただ今の事務局の説明に関しまして、ご意見やご質問等ありましたらお願いいたします。</p> <p>それでは、ご質問等もないようですので、次に議事（2）について事務局より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>《事務局・業者より説明》 資料②</p>
辰巳会長	<p>ただ今の事務局の説明に対し、ご意見やご質問等がありましたらよろしくお願いたします。</p>
高橋委員	<p>今回、市民に配られる前のアンケート調査票（案）について、私たち委員が意見できなかったことがとても残念だったと思います。次回は、アンケート調査票（案）の段階で会議を開催し検討を行い、意見等が反映された調査票になればと思います。</p> <p>アンケート調査票を見させていただいたのですが、子育て支援事業のサービスとしての事業名がついていますが、その事業名では分かりにくいのではと思いました。前回のアンケート調査の時も同じようなことを言わせていただいたのですが、事業名の「地域子育て支援拠点事業」と記載されると、この事業を利用されている方たちにとってピンときません。具体的に「支援センター」とか「子育てひろば」と補足いただいたら分かりやすいと思いました。</p>
辰巳会長	<p>ありがとうございます。まとめて事務局の方に答えていただきたいと思いますので、他には何かご質問等がありますか。</p>
高木委員	<p>私も高橋委員と同じ意見なのですが、アンケート調査票が委員の手元に届いたときには「この調査票で市民にアンケートを実施します」との段階でしたので、その前のアンケート調査票（案）のときに検討ができたらと思いました。</p> <p>今回は、アンケート調査のための作業に時間の余裕がないとのことで、令和5年11月開催の会議がアンケート開始までの最後の会となりました。その会議で、前回のアンケート調査時に使用した調査票を参考に、今回のアンケート調査票作成にあた</p>

高木委員	<p>っての要望や意見を述べました。それを基に、アンケート調査票が作成されましたが、出された意見等が調査票に反映されているかの確認ができなかったことは残念でした。また、調査票がコンパクトになったとの説明がありましたが、設問について何をさしているのか分かりにくい項目があるのではと、私も同じような感想を持ちました。</p> <p>相談先についてですが「相談できる先は誰（どこ）ですか」との設問で、「市・県の子ども関連窓口、NPO法人や民間機関の相談窓口」等と大きな括りでの調査となっています。前回は相談先として相談機関の名称を具体的に提示し、相談機関の認知等を調査する設問でしたが、そのように調査をしても良かったのではと思いました。</p>
辰巳会長	<p>ありがとうございます。それでは、事務局の方から説明等をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>アンケート調査のスケジュールですが、国の「こども大綱」の策定が遅れ令和5年12月となったことにより期間に余裕がなく、事前に令和5年11月の子ども・子育て会議で委員の皆様にご意見を伺う形で、アンケート調査票（案）として確認をお願いする機会を持たずアンケート調査を行ったことは申し訳なかったと思います。高橋委員の言われるとおり「地域子育て支援拠点」の表記に「支援センター・子育てひろば」と補足して、利用者に馴染みのある表現は大切だと思いました。次回のアンケート調査は、より市民の皆さんが答えやすいような工夫ができればと思います。</p> <p>また、令和5年11月の意見・要望として高木委員から相談機関の追加についてのご意見をいただいております。今回からWEB調査も行いますので、アンケートの途中離脱を少なくする観点からも調査票をコンパクトにするため、相談機関を国・県・市が主体で行っているところに限らせていただいた形となり、ご要望にお応えすることができませんでした。すいませんが、よろしく願いいたします。</p>
辰巳会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>皆さんのおっしゃるとおり、例えばそのアンケート調査票の用語説明のところに、地域子育て支援拠点を実施している施設名を書いた方が回答者にとって分かりやすいのですが、スペース等の問題で全部は書ききれないといった難しい部分もあります。しかし、馴染みのある言葉で言い換えることができるものは対応していくことが大切だと思います。</p> <p>また、実施機関の記載についてですがいろいろな問題を考慮すると難しいところではありますが、アンケート調査ということで実施機関を明記することにより回答しやすくなったり、このような民間団体があることを知ってもらうことにも繋がりますので、可能な場合は記載して作成いただけたらと思います。</p> <p>他に、アンケートについてご意見等はございますか。無いようですね。</p> <p>今回の就学前・小学生保護者のアンケート回収率が50%を超えたというのは、アンケート調査票を単に配っただけでは達成されるものではありません。ここにお集ま</p>

辰巳会長	<p>りの皆さんの市民の方との関係性の構築や、アンケートの回答について声を掛けてくださったことにより結果に繋がったのかと思います。まだ中学生・高校生等とその保護者のアンケート期限中でありますので、皆さんの関わりがあると方にお声がけいただいて、少しでも回収率が上がるようにご協力いただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>アンケート調査のことで補足させていただきます。次回子ども・子育て会議は令和6年5月に開催を予定しています。その時には、アンケート調査結果報告書を事前に配布させていただき、次期計画についてご意見等をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
辰巳会長	<p>それでは、議事（3）その他について事務局より何かありましたらよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">《事務局より説明》 資料③・追加資料</p> <p>「第2期丸亀市こども未来計画」にあります施設管理計画のなかで示しております2件の進捗状況についてお伝えさせていただきます。</p> <p>まず、中央保育所と西幼稚園について、統廃合して新たな「こども園」として開園いたします。園の名称は「城乾こども園」となり、西幼稚園の跡地に建設いたしました。令和6年4月に開園を予定しており、建物は令和6年2月末に竣工いたしました。</p> <p>続いて、中間見直しで示しました「民間活力の効果的な導入について」の栗熊保育所の民営化についてとなります。こちらの方も、今年度プロポーザル方式で受託候補者を選定し「社会福祉法人笑愛会」を受託候補者に決定いたしました。これにつきましては、保護者と市と受託候補者の三者で協議を重ねていき、令和8年4月の開園を目指し取り組んでいきたいと思っております。</p>
辰巳会長	<p>他には何かございませんか。無いようですね。</p> <p>ありがとうございました。次回子ども・子育て会議では、次期計画策定について各委員それぞれの立場からご意見等をいただき、より良い計画になればと思います。</p> <p>それでは議事については以上となり、本日の会議はここまでといたします。皆様ありがとうございました。</p>